

第5回 独立行政法人農業者年金基金契約監視委員会 議事概要

1. 開催日

平成26年3月28日（金） 13:30～15:00

2. 会場

独立行政法人農業者年金基金 特別会議室

3. 出席者

竹川 忠芳 委員長 （竹川忠芳法律事務所 弁護士）
石井 勇人 委員 （社団法人共同通信社 編集委員兼論説委員）
中村 元彦 委員 （中村公認会計士事務所 公認会計士）
田辺 義貴 委員 （独立行政法人農業者年金基金 監事）

4. 議題

- (1) 契約監視委員会委員長の選出について
- (2) 随意契約及び一者応札・一者応募による契約の点検・見直しについて
- (3) その他

5. 概要

- (1) 契約監視委員会委員長の選出について
委員互選の結果、竹川委員を委員長に選出した。
- (2) 随意契約及び一者応札・一者応募による契約の点検・見直しについて
基金より契約一件別の詳細と今後の方針等を説明した。

- ① 競争性のない随意契約について 8件
- ② 一者応札・一者応募となっている一般競争入札等について 5件

競争性のない随意契約については、事務室及び倉庫の賃貸借、事務室清掃業務及び郵便運搬業務等の契約について質疑が行われた。また、一者応札・一者応募となっている一般競争入札等については、「農業者年金記録管理システムの運用保守に係る契約（4案件）」及び「年金コンサルティング業務契約」について質疑が行われた。その結果、随意契約は真にやむを得ないものであること、一者応札・一者応募に対する今後の取組方針等について了承された。

なお、今回の点検・見直しに当たっての委員からの主な意見は以下のとおり。

<主な意見等>

- 事務室及び倉庫の賃貸借契約について、毎年度賃料交渉の経緯等を整理しておくこと。
- 事務室清掃業務及び郵便運搬業務について、契約金額の妥当性を整理しておくこと。
- 農業者年金記録管理システムの運用保守に係る契約（4案件）については、システム稼働初年度であることから、結果的に一者応札となったことはやむを得ないが、来年度以降はよりよい成果を得られるよう更なる対応に努めること。

以上